

黒潮

和歌山県看護協会会報

平成19年5月発行

第99号

—総会特集号—



九度山のこいのぼり

写真 広報委員 八幡 春美

CONTENTS

- ・総会にあたって2
- ・平成19年度通常総会プログラム
- 理事会報告3
- 第一号議案～第四号議案4
- 第五号議案5
- 第六号議案・第七号議案6
- 職能委員会報告7
- 常任委員会報告8

- 特別委員会報告9
- 地区支部報告11
- ・保健師のコーナー16
- ・助産師のコーナー16
- ・看護師のコーナー16
- ・リレーエッセイ17
- ・私の○○17
- ・My Hospital18
- ・トピックス・200719
- ・和歌山県看護協会の動き20

会員総数 5,449名

名誉会員 1名

保健師 171名

助産師 173名

看護師 4,285名

准看護師 819名

平成19年5月15日現在

平成19年度 通常総会にあたり

社団法人和歌山県看護協会
会長 谷 眞子



木々の緑もさらに色濃くなった頃、会員の皆さまのご参集のもとに平成19年度通常総会を開催します。

本総会では、会員の皆さまに本会事業が少しずつ充実し、経営基盤も確実になっていることを報告できることをうれしく思っております。これも平素の皆様方の力強いご協力とご支援の賜と深く感謝申し上げます。

さて、今看護を取り巻く環境は大きな変動期にあります。医療制度改革によって生活習慣病予防や介護予防等予防の重視、医療に於いては医療費の適正化から在院日数の短縮化を図り在宅医療の推進の方向が示されているところです。診療報酬で入院基本料7対1が新設され急性期における看護の大変さが評価されてきましたが、看護師不足を理由に議論の多いところです。いずれにいたしましても私たち看護職には社会の変化に対応できる柔軟性と行動力が求められています。今、看護職のもつ力を主体的に発揮する時だとも考えます。そこで今年度のスローガン案を「激動の時、看護職の力を強化し県民の期待に応えよう」としました。

また、この総会では、通常の協会事業計画（案）に加えて看護協会の将来に関わる看護研修センターの建設について提案しております。昨年度の総会では、現研修センターのもつ問題点から新築移転について承認されました。それを受けて1年間候補地さがしや費用について検討を進めてきました。会員の皆さまのご協力を得ることで実現可能な方法を見いだすことができましたので土地・建物について具体案をお示しします。これからの看護職が専門職としての誇りを持ち、安心して看護職を継続できる拠点となることや会員が自由に集い会員のための館になることを願っております。

これからの時代にふさわしい新たな機能を備えた看護研修センターの実現に向けて、会員全員参加の意識をもって議論して頂きたいと願っております。

この総会で会長職交代の時期をむかえています、これについても総会で皆さまの承認を得ることとしています。いろいろと看護協会の将来に影響する審議事項があります。

会員の総意によって事業を進めて行きたいと考えますゆえに、この総会には多数参加くださいますようお願い申し上げます。

平成19年度和歌山県看護協会

通常総会プログラム

日程:平成18年6月9日(土)
場所:和歌山県民文化会館 小ホール

12:20	開 場	職能委員会報告
12:50	オリエンテーション	常任委員会・特別委員会報告
13:00	開 会	地区支部報告
	物故会員に黙とう	14:15 提出議題審議
	会長挨拶	16:15 選 挙
	来賓祝辞(来賓紹介・祝電披露)	新役員紹介
	和歌山県看護協会会長表彰	旧役員への謝辞
	(休 憩)	旧役員の挨拶
13:50	議長団選出	綱領宣言
	議事録署名人選出	看護協会歌合唱
	平成18年度総会議事録朗読	16:30 閉 会
	理事会報告	

I 理事会等開催状況

1. 常務理事会

回	開催日	時間	出席者	
			常務理事	
1	平成18年4月25日	10:00～12:30	6	
2	平成18年6月13日	13:30～17:00	4	
3	平成18年8月18日	10:00～12:30	7	
4	平成18年10月31日	10:00～12:30	6	
5	平成19年2月6日	13:30～17:30	7	
6	平成19年3月23日	10:00～12:30	5	

2. 理事会

回	開催日	時間	出席者			
			常務理事	理事	監事	事務局
1	平成18年4月25日	13:30～17:40	6	8	1	2
2	平成18年5月30日	13:30～16:00	7	9	2	2
3	平成18年6月27日	10:00～12:30	5	8	2	2
4	平成18年8月18日	13:30～17:20	6	8	2	2
5	平成18年10月31日	13:45～17:00	6	9	2	2
6	平成19年3月23日	13:30～17:00	6	8	1	1

3. 理事・各委員長・地区支部長合同運営会議

回	開催日	時間	出席者				
			常務理事	理事	監事	委員長	事務局
1	平成18年4月25日	13:35～14:50	6	7	1	9	2
2	平成18年6月27日	13:30～14:50	4	8	2	11	2

4. 代議員会

回	開催日	出席者	
		代	議 員
1	平成18年5月17日	24	

II 理事会主な協議事項

第1回理事会 平成18年4月25日(火) 13:30～17:40

1. 報告事項

- 1) 教育担当職員の採用について
- 2) 第1回法人会報告について
 - ①平成19年度日本看護学会開催担当都道府県看護協会について
和歌山県 看護管理 10月25日(木)26日(金)
 - ②「看護の日・看護週間」中央行事「看護フォーラム」平成19～22年度の開催について
平成19年度(第17回)和歌山 和歌山県民文化会館
 - ③公益法人制度改革について
 - ④日本看護協会防災体制の趣旨・目的について
 - ⑤日本看護協会における医療看護安全推進事業のまとめについて
 - ⑥看護職賠償責任保険制度加入の実施について
 - ⑦ALS患者の在宅療養支援に関する3ヶ月計画の事業報告について
 - ⑧2007年CNR・ICN学術集会開催について
 - ⑨看護基礎教育の充実に関する検討会について
 - ⑩日本看護学会開催費の見直しについて

2. 協議事項

- 1) 2007年CNR・ICN学術集会における近畿地区のブースの設営について

- 2) 平成18年度通常総会の役割について
- 3) 平成18年度の事業(案)の確認について
- 4) 平成18年度運営に関する会議の年間計画について
- 5) 平成17年度事業実施報告について
- 6) 平成17年度決算報告と監査報告について
- 7) 平成18年度予算(案)について
- 8) 平成18年度通常総会への提案事項について
研修センター移転について会員に問いたい
以上承認される

第2回理事会 平成18年5月30日(火) 13:30～16:00

1. 通常総会の打合せについて
2. 通常総会への提案事項について

第3回理事会 平成18年6月27日(火) 10:00～12:30

1. 確認及び協議事項
 - 1) 組織について 確認
 - 2) 平成18年度事業計画について
2. 各委員会への諮問事項について 承認される

第4回理事会 平成18年8月18日(金) 13:30～17:20

1. 報告事項
 - 1) 第2回法人会報告について
 - ①平成18年度先駆的保健活動交流事業に関する協力依頼について
 - ②安全で質の高い医療の確保・充実に関する件について
 - ③健康保険法の一部を改正する法律案及び良質な医療を提供する体制の確立を図るために医療法等の一部を改正する法律案に対する付帯決議について
 - ④看護職員の確保が困難な地域・医療機関の看護職員確保モデル事業の実施について
 - ⑤ポピュレーションアプローチに関する先駆的事例の収集について
 - ⑥2007年CNR・ICN学術集会について
 - ⑦身体拘束廃止推進事業に係る看護指導者養成研修について
 - ⑧看護師の資質の向上(保健師助産師看護師法等)について
 - ⑨新たな保健師・助産師教育制度の検討について
 - 2) 都道府県職能委員長報告について
 - 3) 各地区支部施設会員代表者会開催状況について
 - 4) 和歌山県ナース章の推薦について 8名を推薦
2. 協議事項
 - 1) 助産師職能委員・看護師職能委員の変更について
 - 2) 看護研修センター建設に関することについて
 - 3) 訪問看護ステーションの運営と今後の方向について
以上承認される

第5回理事会 平成18年10月31日(火) 13:45～17:00

1. 報告事項
 - 1) 地区別法人会・都道府県職能委員長報告について
 - 2) 平成18年度中間監査報告と事業経過報告について
2. 協議事項

- 1) 看護研修センターに関することについて
- 2) 看護協会立訪問看護ステーションについて
利用者、職員ともに了解を得て、なだいコーポレーションに移管
看護協会立は12月末で休止とし、来年の総会で廃止を提案
- 3) 平成19年度に向けての提案・要望事項について
- 4) 2007年CNR・ICN学術集会について
- 5) 助産師職能委員の変更について
以上承認される

第6回理事会 平成19年3月23日(金) 13:30～17:00

1. 協議事項
 - 1) 平成19年度スローガン(案)・重点事業(案)・事業計画(案)について
 - 2) 看護研修センターについて
 - 3) 和歌山県看護協会定款改正について
 - 4) 2007年「看護の日・看護週間」中央行事「看護フォーラム」について
当日の進行・プログラムの説明
 - 5) 事務局長就任について
 - 6) 平成19年度和歌山県看護協会会長表彰について
10名選出
以上承認される

- 第一号議案 平成18年度事業報告(案)
 第二号議案 決算報告(案)及び監査報告(案)
 ※内容は総会要綱に掲載

第三号議案 **平成19年度 和歌山県看護協会のスローガン(案)**

「激動の時、看護の力を強化し県民の期待に応えよう」

第四号議案 **平成19年度 事業計画(案)**

重点事業(案)

1. 看護三職能の専門性の強化
2. 在宅医療・訪問看護の推進
3. 看護職のキャリア形成に必要な教育体制の構築
4. 災害時の看護支援体制の強化
5. 会員組織の強化

項目	目 標	事業及び内容
I 組織の強化	1) 組織の強化	1) 会員数の増加・拡大 目標 5,850名 ①入会促進のため看護教育機関への働きかけ ・看護学校等教育機関の行事への参加 ・和歌山県看護教育機関連絡協議会と連携 ②会員研修の充実 ③セカンドキャリア会員の増加促進 2) 地区支部の連携強化 ①連携のための協議と情報交換 ・地区支部単位施設会員代表者会議年2回 ・事業展開のための要望・提案 ②即成金の交付 ③ホームページの活用(地区支部のページ) ・eメール・インターネットの活用 3) 和歌山県看護協会個人情報保護規定の遵守 1) 新入会員オリエンテーション 2) 看護者の倫理綱領の普及と促進 1) 公益社団法人として準備
	2) 会員意識の高揚	1) 新入会員オリエンテーション 2) 看護者の倫理綱領の普及と促進 1) 公益社団法人として認可申請の準備
I 組織に関する事項	1) 円滑な運営	1) 諸会議に関すること ①総会 年1回以上 ②常務理事会 年6回 ③理事会 年6回 ④理事・各委員長合同会議 年2回 ⑤代議員会 年1回 ⑥職能委員会 年2回以上 ⑦各委員会(常任・特別) 適宜 ⑧職能別集会 年1回 各会議の効果的な運営を図る 1) 平成19年度より再入会者に対して入会金を徴収 2) 県看護協会ホームページの活用 ①各地区支部のスペースを設定 ②活用しやすいホームページにする 2) 県看護協会会報「黒潮」の充実 4回発行 会報「黒潮」をホームページで公開 1) 新看護研修センターの土地の確保 2) 新看護研修センターの建設の推進 3) 看護研修センター将来構想検討委員会から建設推進委員会に委員会名を変える
	2) 再入会者への対応 3) 広報活動と県看護協会会報「黒潮」の充実 4) 新看護研修センターの推進	
II ナースセンター事業に関する事項	1) 再就業の促進	1) ナースセンター事業の強化 ①ナースバンク事業の強化 ②ナースセンターだよりの発行 ③セカンドキャリア開発支援事業 登録の促進と積極的なキャリア活用 登録者の研修 2) 登録者へ研修参加への呼びかけ 1) 看護職員確保と職場定着の強化 ①離職防止相談事業の強化 ②フレッシュ研修 ③リフレッシュ研修 2) 看護職員確保定着に向けた活動 (日本看護協会の構想に基づき) ①看護職員確保定着推進事業の趣旨の周知 ②各種ガイドブック活用の紹介 ③関係団体との協議
	2) 看護職員の職場定着の促進	1) 「ふれあい看護体験」高校生対象 高校の体験学習を位置づけて実施 病院協会へ依頼し各病院での看護を体験 1) 開催日 平成19年5月12日(土) 2) 開催場所 県民文化会館大ホール 1) 訪問看護推進事業 ①訪問看護推進協議会での協議 ②訪問看護師・施設看護師相互研修 2) 施設看護と訪問看護の連携を推進
III 看護実践に関する事項	3) 「看護の心」の普及	1) 「ふれあい看護体験」高校生対象 高校の体験学習を位置づけて実施 病院協会へ依頼し各病院での看護を体験 1) 開催日 平成19年5月12日(土) 2) 開催場所 県民文化会館大ホール 1) 訪問看護推進事業 ①訪問看護推進協議会での協議 ②訪問看護師・施設看護師相互研修 2) 施設看護と訪問看護の連携を推進
	4) 平成19年度「全国看護フォーラム」開催 5) 訪問看護の推進	
III 看護実践に関する事項	1) 各職能の業務の課題を明確化し連携の強化とサービスの充実	1) 各職能委員会活動 ①保健師が業とする保健指導の現状と課題の検討 ②助産師として自立した助産ケアへの質保証について検討 ③看護師の職場定着促進への課題の検討 ④看護職の子育て支援対策の実態把握 2) 各職能委員会活動を積極的に広報する 3) 各職能集会和三職能連携した研修 4) 生活習慣病予防活動支援プログラム研修への参加 5) 介護予防事業等包括支援センターのリーダー研修 6) 子どもの虐待防止の推進と子育て支援 7) 高齢者の虐待防止(身体拘束ゼロ)の推進 1) 教育啓発 ①リスクマネージャーの養成 修了者に修了証を発行
	2) 医療・看護安全対策の強化	

項目	目 標	事業及び内容
III 看護実践に関する事項	3) 災害時における活動体制の構築	②「看護者の倫理綱領」の推進 2) 看護事故相談窓口の設置 3) 各ガイドラインの普及と推進 4) 看護職賠償責任保険の普及 5) 近畿地区リスクマネージャー交流会への協力 6) 医療安全に関わる職場環境の検討結果を会員へ周知 1) 災害看護の研修 2) 災害時のネットワークの構築 災害支援看護者登録 3) 災害支援看護者活動の手引き作成 4) 新たな看護活動・地域保健活動の開発と推進 5) たばこ対策の推進
	4) 新たな看護活動・地域保健活動の開発と推進	1) 「まちの保健室」事業の充実 2) 「生活習慣病の予防」等事業への支援ができる人材の育成(在宅保健師の事業開発) 3) NPO法人和歌山保健科学センターと協力 1) たばこ対策推進者の養成 ・職場における禁煙支援リーダー育成を強化 2) 禁煙支援リーダーの活動への支援と禁煙モデル施設の推進
IV 教育に関する事項	1) 看護の専門職として社会に期待される役割を果たすために必要な能力の開発と向上をめざす	1) 平成19年度会員教育計画の充実と実施 2) 看護管理者教育課程の充実(セカンドレベルの教育課程開設の準備) 3) 履修記録の活用 4) 実習指導者研修の実施(県委託事業) 5) 研修に関する情報公開と参加申込みを容易にするホームページを活用 6) 環境整備—インターネットでの文献検索の充実 7) 和歌山県立医科大学保健看護学部との連携強化 8) 和歌山県看護教育機関連絡協議会への支援 1) 開催日時 平成19年10月25,26日 2) 開催場所 和歌山県民文化会館 1) 開催日時 平成20年3月8日(土) 2) 開催場所 県民文化会館小ホール
	2) 平成19年度日本看護学会「看護管理」開催 3) 和歌山県看護研究学会	
V 社会経済福祉に関する事項	1) 会員の社会経済福祉の向上	1) 看護職の確保定着の促進事業の推進 ①看護職が働き続けられる職場づくりに関する情報提供 ナースセンター事業や看護師職能委員会と協働する ②もう一つのリスクマネージメント 「看護職の労働安全衛生」指針の普及 2) 会員の慶弔・災害見舞い 1) EPAに関する情報収集と情報提供
	2) 看護労働の国際化への対応	
VI 看護制度に関する事項	1) 准看護師問題への対応	1) 准看護師の看護師養成2年課程(通信制)への入学への支援 2) 看護基礎教育の検討に関する対応 3) 保健師、助産師教育制度に助産師に対する対応
	2) 看護基礎教育の検討に関する対応	1) 日本看護協会における教育見なしの検討内容について会員へ情報提供する
VII 啓発に関する事項	1) 社会へ看護についての啓発	1) 看護協会活動を広報する 2) 「看護の日」のPR 3) 「1日まちの保健室」地区支部で開催 4) 関係他団体への後援、協賛依頼への協力
	1) 在宅看護を推進する	1) 在宅看護の推進 2) 在宅看護推進協議会への参加 3) 訪問看護ステーション連絡協議会への協力 4) 会員が開設する訪問看護ステーションへの支援 5) 訪問看護ステーション開設基金の創設 6) 介護保険制度・医療制度改正に伴う在宅ケアのあり方について検討 ①訪問看護・施設看護職の交流研修 7) A L S 患者の在宅療養支援 ①医療施設と地域の連携強化 ②在宅療養支援のネットワークへの協力 ③在宅人工呼吸器を装着している患者家族への支援と災害時の対応
VIII 在宅看護の推進	1) 在宅看護を推進する	1) 在宅看護の推進 2) 在宅看護推進協議会への参加 3) 訪問看護ステーション連絡協議会への協力 4) 会員が開設する訪問看護ステーションへの支援 5) 訪問看護ステーション開設基金の創設 6) 介護保険制度・医療制度改正に伴う在宅ケアのあり方について検討 ①訪問看護・施設看護職の交流研修 7) A L S 患者の在宅療養支援 ①医療施設と地域の連携強化 ②在宅療養支援のネットワークへの協力 ③在宅人工呼吸器を装着している患者家族への支援と災害時の対応
	2) 在宅看護を推進する	
IX 関係機関への協力	1) 日本看護協会事業との連携	1) 日本看護協会との連携 ①総会及び諸会議への出席 ②各種調査への協力 ③各種事業への協力 ④地区別法人会・職能委員長会への出席 2) ICN・CNR学術大会への協力 1) 県病院協会・県医師会・都市医師会との連携強化 2) コ・メディカル団体との協働 3) 関係機関の委員及び協議会への参画
	2) 他団体・関係機関との連携強化	

第五号議案

平成19年度一般会計収支予算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

△印は前年度予算より減(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1) 特定資産運用収入	30,000	0	30,000	
(1) 特定資産利息収入	30,000	0	30,000	
(2) 会費収入	58,500,000	58,000,000	500,000	目標会員数5,850人×10,000円
(1) 会費収入	58,500,000	58,000,000	500,000	
3) 入金会費収入	6,000,000	5,000,000	1,000,000	
(1) 入金会費収入	6,000,000	5,000,000	1,000,000	新規入会者・再加入者600人×10,000円
4) 事業収入	21,044,000	19,106,000	1,938,000	
(1) 受講料等収入	19,144,000	17,206,000	1,938,000	1. 会員研修 347人 11,624,000 2. 看護研究学会 1,350,000 3. 認定看護管理者研修 5,670,000 4. 准看護師研修 500,000
(2) 会館賃借料収入	300,000	300,000	0	
(3) 福祉年金事務費収入	600,000	600,000	0	
(4) 手数料収入	1,000,000	1,000,000	0	
5) 補助金等収入	23,163,000	22,836,000	327,000	
(1) 日本看護協会助成金収入	8,641,000	8,626,000	15,000	1. 協会運営助成 500,000 2. 看護の日週間行事助成 100,000 3. 会員教育助成 1,253,000 4. 会員登録事務補助 288,000 5. 会員教育等任者雇上助成 3,000,000 6. 訪問看護等任者雇上助成 3,000,000 7. 准看護師研修等事業申請助成 500,000
(2) 病院協会助成金収入	100,000	100,000	0	
(3) 県ナースセンター委託金収入	10,416,000	10,364,000	52,000	県医師課委託費
(4) 実習指導者講習会委託金収入	3,087,000	2,827,000	260,000	県医師課委託費
(5) 推進員養成研修委託金収入	919,000	919,000	0	県長寿社会推進課委託費
6) 雑収入	1,410,000	1,410,000	0	
(1) 受取利息収入	10,000	10,000	0	
(2) その他の雑収入	1,400,000	1,400,000	0	1. 資料代 1,200,000 2. その他 200,000
事業活動収入計	110,147,000	106,352,000	3,795,000	
2. 事業活動支出				
1) 事業費支出	54,311,000	50,223,000	4,088,000	
(1) 人件費支出	11,569,000	8,600,000	2,969,000	
① 給料手当支出	10,219,000	7,500,000	2,719,000	
② 賞金支出	300,000	100,000	200,000	
③ 福利厚生費支出	1,050,000	1,000,000	50,000	
(2) 会議費支出	7,160,000	7,410,000	△250,000	
① 日本看護協会参加費支出	300,000	300,000	0	
② 代議員会費支出	100,000	150,000	△50,000	
③ 総会費支出	1,400,000	1,300,000	100,000	
④ 職能集會費支出	500,000	350,000	150,000	1. 保健師職能集會費 150,000 2. 助産師職能集會費 150,000 3. 看護師職能集會費 200,000
⑤ 理事会費支出	630,000	630,000	0	
⑥ 合同運営会議費支出	350,000	500,000	△150,000	1. 合同運営会議費 150,000 2. 地区別施設代表者会費 200,000
⑦ 職能委員会費支出	1,300,000	1,300,000	0	1. 保健師職能委員会費 400,000 2. 助産師職能委員会費 400,000 3. 看護師職能委員会費 500,000
⑧ 常任委員会費支出	1,530,000	1,580,000	△50,000	1. 社会経済福祉委員会費 200,000 2. 教育委員会費 500,000 3. 広報委員会費 200,000 4. 準備委員会費 80,000 5. 推薦委員会費 150,000 6. 業務委員会費 200,000 7. 看護研究学会委員会費 200,000
⑨ 特別委員会費支出	1,050,000	1,300,000	△250,000	1. 認定看護管理者教育委員会費 200,000 2. 准看護師委員会費 200,000 3. 看護研修センター建設推進委員会費 150,000 4. まちの保健室運営委員会費 200,000 5. 在宅看護推進委員会費 150,000 6. セカンドキャリア事業運営委員会費 150,000
(3) 需用費支出	3,100,000	2,600,000	500,000	
① 旅費交通費支出	800,000	800,000	0	
② 通信運搬費支出	1,200,000	1,000,000	200,000	
③ 印刷製本費支出	800,000	500,000	300,000	
④ 調査研究費支出	300,000	300,000	0	
(4) 会員厚生費支出	411,000	411,000	0	1. 福利厚生費 300,000 2. 会務傷害保険料 111,000
(5) 教育費支出	12,900,000	11,900,000	1,000,000	
① 会員研修費支出	7,000,000	6,500,000	500,000	
② 認定看護管理者研修費支出	3,800,000	3,300,000	500,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
③ 准看護師研修会費支出	500,000	800,000	△300,000	
④ 看護研究学会費支出	1,200,000	1,000,000	200,000	
⑤ 職能合同研修費支出	400,000	300,000	100,000	
(6) セカンドキャリア事業推進費支出	400,000	400,000	0	
(7) まちの保健室運営費支出	600,000	600,000	0	
(8) 広報活動費支出	2,000,000	2,000,000	0	1. 広報費 1,700,000 2. 啓発費 300,000
(9) 組織強化費支出	2,199,000	2,192,000	7,000	1. 地域活動助成費 1,639,000 2. 新入会員オリエンテーション 400,000 3. 地区別情報提供費 160,000
(10) ナースセンター委託事業費支出	10,416,000	10,364,000	52,000	県医師課委託費 1. 再就業促進事業 2,819,000 2. 看護の心の普及事業 184,000 3. 訪問看護推進事業 1,223,000 4. 需用費 317,000 5. 人件費 5,873,000
(11) 実習指導者講習会委託費支出	3,087,000	2,827,000	260,000	県医師課委託費
(12) 推進員養成研修委託費支出	919,000	919,000	0	県長寿社会推進課委託費
2) 管理費支出	49,994,000	51,322,000	△1,328,000	
(1) 人件費支出	28,826,000	30,154,000	△1,328,000	
① 役員報酬支出	8,000,000	10,150,000	△2,150,000	
② 給料手当支出	16,800,000	16,800,000	0	
③ 賞金支出	100,000	100,000	0	
④ 退職金給付支出	1,426,000	604,000	822,000	
⑤ 福利厚生費支出	2,500,000	2,500,000	0	
(2) 需用費支出	16,106,000	15,321,000	785,000	
① 会議費支出	300,000	200,000	100,000	
② 渉外費支出	600,000	390,000	210,000	
③ 旅費交通費支出	500,000	300,000	200,000	
④ 通信運搬費支出	500,000	510,000	△10,000	
⑤ 賃借料支出	1,756,000	1,756,000	0	
⑥ 借上物件賃借料支出	2,600,000	2,600,000	0	借上物件賃料・警備委託料 他
⑦ 消耗什器備品費支出	1,000,000	1,000,000	0	
⑧ 消耗品費支出	600,000	550,000	50,000	事務用品・消耗品 他
⑨ 印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0	コピー料 他
⑩ 光熱水料費支出	1,750,000	1,750,000	0	
⑪ 諸謝金支出	500,000	315,000	185,000	税理士報酬 他
⑫ 租税公課支出	3,500,000	3,500,000	0	固定資産税・法人税・消費税 他
⑬ 災害保険料支出	400,000	400,000	0	建物・備品火災保険料
⑭ 雑支出	600,000	550,000	50,000	
(3) 情報処理費支出	2,000,000	2,000,000	0	
(4) 當繕費支出	1,500,000	1,500,000	0	
① 修繕費支出	1,000,000	1,000,000	0	
② 保守料支出	500,000	500,000	0	0 会館機器
(5) 会館委託費支出	2,347,000	2,347,000	0	1. 警備委託料 450,000 2. マット取替 90,000 3. 電気工作物点検 142,000 4. 浄化槽維持管理 430,000 5. 自動扉保守点検 85,000 6. 防火設備保守点検 100,000 7. 館内清掃 1,050,000
事業活動支出計	105,540,000	101,545,000	3,995,000	
事業活動収支差額	4,607,000	4,807,000	△200,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
1) 特定資金取崩収入	1,426,000	530,000	896,000	
(1) 退職給付引当資産取崩収入	1,426,000	530,000	896,000	
投資活動収入計	1,426,000	530,000	896,000	
2. 投資活動支出				
1) 固定資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
(1) 什器備品取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
2) 特定資産支出	21,356,000	19,880,000	1,476,000	
(1) 退職給付引当金取得支出	1,426,000	1,050,000	376,000	
(2) 減価償却引当資産取得支出	2,230,000	2,230,000	0	
(3) 施設整備積立引当資産取得支出	17,700,000	16,600,000	1,100,000	
投資活動支出計	22,356,000	20,880,000	1,476,000	
投資活動収支差額	△20,930,000	△20,350,000	△580,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	2,000,000	2,000,000	0	
当期収支差額	△17,118,000	△17,543,000	425,000	
前期繰越収支差額	31,030,000	23,302,000	7,728,000	千円未満切捨
次期繰越収支差額	12,707,000	5,759,000	6,948,000	

(注) 1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担金 0円

会員からの預託金の考え方

- 第一期** 預託金目標額 130,000,000円 (23,000×5,800人=133,400,000) 看護研修センターの用地取得に充当する。
- ①会員の加入促進
 - ②現実の会員数の見込みから、5,800人に23,000円の預託をお願いする
 - ③第一期預託金は、会員である間返還しない。また会員として研修センター利用促進と連帯意識の高揚を図るため、新入会員にも継続して預託をお願いする。
 - ④退会会員への返還は、新入会員の預託をもって継続して行う。
 - ⑤和歌山県看護協会が解散する時があれば、土地売却収入でもって全会員に預託金の全額を返還する。
 - ⑥会員からの寄付は積極的に受ける。

平成19年度	会員預託金 23,000×5,800	目標額 130,000,000円	建設用地購入 1,000坪
--------	-----------------------	---------------------	------------------

- 第二期** 預託金目標額 430,000,000円 新研修センター建設
- ①用地取得から3年目を目標に新研修センターを建設する。
 - ②建設のための資金について、3年間(平成20~23年)で会員に預託をお願いする。
預託金目標額は会員1人、3年間60,000円とする。
その方法については3年間を均等にし、20,000円×3年間に
するか又は30,000円×2年間は選ぶことができる。
 - ③会員預託金の返還は、新看護研修センター開所後に現研修センターの売却で約半分の会員預託金を返却する。
 - ④預託金を返還する順位については、会員歴の長い順にする。
 - ⑤預託金の残額は、新入会員の預託金の拡大を図り早期に返還する。
 - ⑥完全返還は新看護研修センター開所後10年を目途とする。
 - ⑦寄付金は積極的に受けていく。

看護研修センター建設費	予算	550,000,000	円
建設費の資金計画			
会員からの預託金		430,000,000	円
設備整備積立(3年間)		47,700,000	円
建物減価償却資産額		88,000,000	円
計		555,700,000	円

職能委員会報告

保健師職能委員会 委員長 川口 江美子

- ・回数 職能委員会5回 施設研修2回 三職能委員長会3回 三職能合同集会1回
- ・審議事項及び活動内容
- 1 活動方針
 - 1) 組織の増加と事業の充実
会員数の増加
 - 2) 災害時の保健活動対策
災害時の緊急対応マニュアルの作成
緊急対応を要するフェーズ0(24時間以内)からフェーズ1(72時間以内)に的を絞り、検討する。
- 2 活動内容及び結果
 - ・職能委員会は土曜日に実施
委員会にて、フェーズ0(24時間以内)からフェーズ1(72時間以内)に的を絞り、保健師の災害活動マニュアルを検討する。
マニュアル作成にあたり、阪神淡路大震災を経験した兵庫県看護協会理事、保健師職能委員長の平田きよえ氏より「災害時の活動体制について」講義を受ける。
 - ・施設研修…2班に分かれて実施
平成18年8月5日(土)
平成18年8月19日(土)
兵庫県神戸市「人と防災未来センター」の施設研修
企画運営課長 田中健一氏 による説明
 - ・保健師職能集会開催
日時：平成18年9月30日(土)午前
場所：プラザホープ 参加者36名
講演：①「難病患者の支援」～元患者の視点から患者の自立を支援～
東京都多摩立川保健所 保健福祉課 地域保健第一係 森田 桂 保健師
②「難病・子ども保健相談支援センターについて」
和歌山県難病・子ども保健相談支援センター 中江静子 所長
 - ・三職能合同研修会
日時：平成18年9月30日(土)午後
場所：プラザホープ
講演：「看護職のためのストレスマネジメント」
大阪人間科学大学 人間科学部健康心理学科 山田富美雄 教授

助産師職能委員会 委員長 向井 君子

- ・回数 職能委員会10回 三職能委員長会3回 三職能合同集会1回
- ・審議事項及び活動内容
- 1 活動方針
 - 1) 思春期保健指導の活動を活性化するとともに、活動内容、協力員の育成について考えニーズにこたえられるようにする。
 - 2) 産婦人科の閉鎖問題とともに助産師のおかれている現状を明らかにし、妊産婦への利益を守るための課題をあきらかにする。
 - 3) 県看護協会、三職能、各委員会と有効な連携を図る。
- 2 活動内容及び結果
 - 1) について
 - ・思春期保健指導の実施
日時：平成18年7月6日(木) 大成高校 全学年対象 場所：海草郡紀美野町 大成高校
参加者：職能委員7名 協力員2名
日時：平成18年12月1日(金) 海南高校 3年生対象 場所：海南市 海南高校
参加者：職能委員6名 協力員6名
 - 2) について
 - ・現在の産科病棟のおかれている現状に関しての聞き取り及び問題の抽出を行った。
 - ・日本看護協会助産師職能作成「病院・診療所における助産師の働き方-助産師が自立して助産ケアを行う体制づくりのために-」の内容を和歌山県の現状に則するか検討した。
 - ・和歌山県の現状での「自立した助産師の働き方」の体制作りに必要なまたは問題と考えられる内容を検討する。
 - 3) について
 - ①地区支部との連携
 - ・「看護の日」に合わせて和歌山地区支部主催「まちの保健室」に参加
日時：平成18年5月13日(土) 13:00~15:00 場所：きのくに志学館
アロマテラピーを活用した日常生活の指導、助産師による相談
 - ②三職能合同集会開催
日時：平成18年9月30日(土) 13:00~17:00 場所：プラザホープ 4階大ホール
テーマ「看護職のためのストレスマネジメント」
講師：大阪人間科学大学 人間科学部健康心理学科教授 山田富美雄先生
 - ③助産師職能集会
日時：平成18年9月30日(土) 10:00~12:00 場所：プラザホープ 2階多目的ホール
委員長報告
講演「妊産婦のケア 取り入れてみませんか アロマテラピー」
講師「ロンドン・スクール・オブ アロマテラピー・ジャパン校 講師
IFA認定アロマテラピストIAIMインフアントマッサー・ジニストラクター
滋澤 智子先生
- 3 今年度の評価及び今後の課題
 - ・思春期保健指導は継続して行うことで、助産師職能の思春期への取り組みの継続につながると考えられる。今後希望者などを協力員として受け入れ、会員が自分たちの地域で取り組んでもらえるような場になればと考える。
 - ・産科や助産師の置かれている現状をみると、日本看護協会発行の「自立した助産師の働き方」で紹介された内容では解決できない現状が問題として抽出された。
 - ・医師を引き上げられた病院で産科を助産師中心で行うケースでの問題や対策をまとめる必要性が示唆された。今後はケースをモデルとして参考にさせていただき、まとめてゆく。
 - ・連携をとって助産師職能の役割も発揮でき、今後も継続してゆく。
 - ・子どもの虐待も助産師職能側からの視点として、取り組み内容を今後検討してゆく。

看護師職能委員会		委員長 水田 真由美
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 職能委員会9回 小委員会9回 三職能委員長会3回 小委員会 ①三職能合同研修会、看護師職能集会検討委員会 ②職能委員の活性化と看護の質の向上を図る検討委員会 ・審議事項及び活動内容 1 活動方針 <ol style="list-style-type: none"> 1) 県看護協会、三職能、各委員会、地区支部、会員と有効な連携を図る。 2) 県民の期待にこたえるべき看護の質向上と専門職にふさわしい看護師を目指す。 3) 会員数を就業者数の2分の1 5800人を目指し、組織を強化する。 2 活動目標と活動内容 <ol style="list-style-type: none"> 1) 県看護協会、三職能、各委員会、地区支部、会員と有効な連携を図る。 ①地区支部との効果的な連携を図る。 ②准看護師の質の向上と移行に向けての支援を行う。 ③看護職のたばこ対策の推進を行う。 ④看護職のためのストレスマネジメントについて考え三職能の連携を図る。 ⑤各委員会と効果的な連携を図る。 2) 県民の期待にこたえるべき看護の質向上と専門職にふさわしい看護師を目指す。 <ol style="list-style-type: none"> ①専門職としての能力開発を促進し、看護の質向上を図る。 ②介護福祉施設に従事する看護職の動向調査を行う(総会要綱資料参照)。 3) 会員数を就業者数の2分の1 5800人を目指し、組織を強化する。 <ol style="list-style-type: none"> ①会員数5800人を目指し、組織を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・地区別施設会員代表者会議、地区支部総会で動きかけを行う。 ・ホームページでの動きかけを行う。 ・施設ごとの新採用者の入会100%を目指す。 ・准看護師の入会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学校での働きかけを行う。 ②離職を防ぐ。 ・職能集会で離職防止に向けてのシンポジウムを行う。 	
<ol style="list-style-type: none"> 3 職能集会、三職能合同研修会 日時:平成18年9月30日(土)10:00~12:00 場所:プラザホープ 4階大ホール <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師職能集会 参加者158名 <ol style="list-style-type: none"> ①看護師職能委員会活動報告 ②シンポジウム「離職防止に向けての取り組み」 シンポジスト 御前 裕子氏 日本赤十字社和歌山医療センター 大字 京子氏 中谷病院 岩室みち子氏 和歌山県立医科大学附属病院 辻 幸代氏 和歌山県立医科大学保健看護学部 2) 三職能合同研修会 参加者196名 <ol style="list-style-type: none"> ①テーマ「看護職のためのストレスマネジメント」 講師 山田富美雄先生 大阪人間科学大学 教授 4 評価および今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師職能集会および三職能合同研修会の開催告知が例年より遅くなったことが、昨年度より参加者数減少の要因になったと考えられるため、2ヶ月前には告知を実施する。 ・介護福祉施設に従事する看護職員の動向調査では、看護協会入会者数がほとんどいないことが判明した。入会を促すような研修内容の検討や開催を考えていく必要がある。 ・会員数は平成19年1月10日現在5751人と昨年よりも100人程度増加し、ほぼ目標達成に近づいた。今後も組織強化に向けて努力していく 		

常任委員会報告

社会経済福祉委員会		委員長 児玉 百合子
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 8回 ・審議事項及び活動内容 1.和歌山県ナースバンクに相談のあった看護職の離職に関する実態調査 今回は20歳~49歳の離職の実態について分析を行った結果、離職理由としてどの年代においても出産・育児・子供のためという理由が高い位置をしめている。休みがとれない・残業が多いという理由が多いことから労働条件や休日を利用した研修会・学習会への出席、看護師不足による労働条件の悪化、業務内容の高度化、など職場環境に問題があるのではないかと考えられる。 20歳代~30歳代では他分野への興味があるという理由も上位にはい 	<p>っていることから、自己のキャリアアップにとって適正な部署に配属されているのかという問題が考えられ、そのため人員配置についての評価も必要であり、人材啓発について考える必要があるのではないかと考える。</p> <p>看護師不足でのなかで、人材を確保するだけではなく、現在働いている看護師の離職率をあげないようにするための職場づくりが必要となっていると考える。詳細は総会要綱資料参照。</p>	
	<ol style="list-style-type: none"> 2.禁煙支援リーダー養成研修 上記協力員として参加。 	

教育委員会		委員長 木村 和美
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 10回 ・審議事項及び活動内容 平成18年度は新人教育、看護共通研修Ⅰ、看護共通研修Ⅱ、看護管理、専門領域の5つの枠組みで、34の教育研修の企画・運営・評価を行いました。そのうち80%以上の受講定員数に満たない研修は、5企画でした。受講希望者が受講定員数を上回る研修は、21企画と多く、そのうち希望者数が150%を上回る研修は、11企画に至り、300%となるものも1企画ありました。講師と相談・調整の上、定員数をできるだけ多く設定しなおしましたが、十分期待に添えませんでした。 	<p>希望の多い研修につきましては次年度も引き続き企画する予定です。今後とも調整に努めますが、会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。</p> <p>平成19年度は教育計画・研修プログラムの企画では、平成18年度の研修評価を踏まえて看護者として何を学ぶ必要があるのかを考え、会員の皆様のニーズの高い研修を企画するように検討を重ねました。継続して実施する研修に加え、新しい企画も盛り込んでいますので、是非たくさんの方の会員の皆様に受講していただきたいと思っております。</p>	

広報委員会		委員長 赤根 美千代
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 8回 ・審議事項及び活動内容 1.和歌山県看護協会会報「黒潮」の発刊(第96号~99号) 2.県看護協会の動向を掲載し、各職能委員からのコーナー・看護協力委員のコーナーを継続し、会員の皆様へ向けたタイムリーな情報提供 3.「My Hospital」「リレーエッセイ 友達の輪」「私の〇〇」などのコーナーを継続し、読者参加型の紙面作りに努めた。98号からは都 	<p>道府県看護協会広報担当者会議での他府県の会報誌を参考に、より親しまれるように紙面レイアウトをブルーからピンクに変更した。</p> <p>12月は平成18年度近畿地区看護学会を取材し、参加者の生の声を聞いた。</p> <p>99号からは内容についても会員の皆様に様々な分野の最新の情報を発信できるように「トピックス」のコーナーを作った</p>	

準備委員会		委員長 玉置 治美
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 3回 ・審議事項及び活動内容 1.平成18年度和歌山県看護協会通常総会は、平成18年6月3日に開催されトラブルなく無事総会を終了。 2.総会後の反省から <ol style="list-style-type: none"> ①展示については、総会の運営に支障の無いように、時間・場所の 	<ol style="list-style-type: none"> 検討を行う。 ②委員会報告の時に混乱しないように、待機していただく場所・時間を明確にする。 ③次回総会の役割分担の決定 本年度も総会がスムーズに運営されるよう、委員一同努力いたしますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。 	

推薦委員会 委員長 高岸千恵

- ・回数 7回
- ・審議事項及び活動内容
委員会において、平成19年度改選役員、委員、平成20年度代議員を下記のとおり推薦いたしました。

◎平成19年度役員理事推薦者(敬称略)				
会長	谷真子		吉田つぐみ	和歌山地区
第一副会長	柏木真弓美	推薦委員	廣畑美峰	中澤則子
書記長	小田垣弥智世		谷前弘代	杭ノ瀬結子
助産師職能委員長	芝佳子		平井安子	松房好美
看護師職能委員長	峰平一二美		向理恵	大江知美
地区理事(支部長兼任)				宮本かすみ
和歌山地区	芝田里花	◎平成20年度代議員推薦者(役員・8地区支部)		(補欠)
海南・海草地区	川崎貴美子	会長	谷真子	(補欠)
新宮・串本地区	塩見和美	第一副会長	柏木真弓美	海南・海草地区
監事	林敬子	第二副会長	高岸壽美	(補欠)
保健師職能委員	石井敦子	書記長	小田垣弥智世	有田地区
	城本依穂	保健師職能委員長	川口江美子	日高地区
	谷山美有紀	助産師職能委員長	芝佳子	中井光代
	松下津也子	看護師職能委員長	峰平一二美	(補欠)
助産師職能委員	出崎陽子	全区理事	宮井千佳代	田辺地区
	東山好美	伊都地区	田中早苗	坂本富士美
	宮本靖代	(補欠)	鈴木真恵	田畑博子
看護師職能委員	阪部千加	那賀地区	河原恵子	(補欠)
	津川篤美	(補欠)	北野えり子	(補欠)
			庄司宜子	新宮・串本地区
				(補欠)
				矢次信子

業務委員会 委員長 古賀和栄

- ・回数 8回
- ・審議事項及び活動内容
6月27日の理事・常任委員、特別委員長合同会議で諮問された医療・看護安全対策への取り組みとして、平成17年度医療安全管理者養成研修受講者を対象にその後の活動状況についてアンケート調査を行った。(アンケート結果は総会要綱資料参照。)その結果、ほとんどの施設で医療安全対策委員会が設置されていた。しかし、リスクマネージャーは9割が兼任であり、十分に活動できていないという回答が多かった。活動内容としては、施設内で医療安全対策委員会のメンバーとして、主に研修開催や看護への指導、ヒヤリハット(インシデントレポート)の分析などであった。また、医療事故に関わったスタッフへのケアも行われていた。研修効果として、「受講後、解決の幅が広がり評価まで考えられるようになった」「ヒヤリハットの報告件数が増え職員の意識改革につながった」などの意見があった。また、平成18年度医療安全管理者養成研修を開催した。研修後のアンケート結果から8割の受講生が学習課題を達成できたという評価が得られた。今後も医療安全に関する研修を継続していく必要がある。

特別委員会報告

近畿地区看護研究学会委員会 委員長 戸田裕信

- ・回数 14回
- ・審議事項及び活動内容
事例検討の領域で、演題募集要項では「重症集中ケアに関するもの」「緩和ケアに関するもの」「在宅支援に関するもの」としたが演題数不足により「重症集中ケアに関するもの」を省き、栄養に関する事例を出してもらうこととし、申し込み演題の中から事例にまわしてもらい、「嚥下・摂食・口腔ケアに関するもの」として事例に追加した。また、栄養に関する業者の展示ブースを設けることとした。事例発表の座長には、糖尿病療養指導士、摂食嚥下専門認定看護師、ホスピスケア認定看護師に依頼し、学会参加者と検討して問題解決し、実践活動に生かすことができる場とした。平成18年度近畿地区看護研究学会は、12月14日・15日に県民文化会館で開催され、参加申し込み883名で、学会参加者は2日間とも700名を超えた。学会テーマは「変革の時、看護の力を発揮しよう」で、嶋森好子先生による特別講演があった。学会運営は、学会委員10名、協力員83名、県看護協会によりおこなわれ、ユニホームを統一し、スタッフ意識を高めた。演題には、口演53題、示説39題、事例7題の計99題が発表された。

認定看護管理者(ファーストレベル)教育運営委員会 委員長 辻幸代

- ・回数 5回
- ・審議事項及び活動内容
1.平成18年度認定看護管理者(ファーストレベル)教育の企画・実施・評価について
・ファーストレベル教育の目的を達成するために、開講式を含む全22日間の研修を企画・実施した(総会要綱資料1参照)。
・研修の評価は、講義終了後にアンケートを実施した(その結果は総会要綱資料2の通りである。受講後アンケートの結果、平成17年度と同様の高い評価が得られた。各科目のねらいにそった講師の選定ができた結果だと考える。
- 2.認定看護管理者ファーストレベル修了者へのフォローアップ研修について
・平成17年度に引き続き、看護サービス提供論と看護情報論の一部をフォローアップ研修として実施した。受講者は、合計98名であった。
・フォローアップ研修のアンケート結果は総会要綱資料3の通りであった。フォローアップ研修のニーズは高く、ファーストレベル研修受講後も新しい知識や制度を適宜学習したいという希望が多かった。それを受けて、来年度も引き続き実施することを提案した。

在宅看護推進委員会		委員長 宮川 啓子
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 9回 ・審議事項及び活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ※和歌山県内における、「病院勤務看護職員及び訪問看護ステーション勤務看護職員の意識・実態調査」に向けてアンケート作成 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅へ移行（退院調整）の困難と解消に向けて ・地域で暮らすための要件 ・地域の医療機関への提案 ・医療職間の連携を強化するための方法提案 ・訪問看護推進事業、特に「訪問看護推進委員会」への資料提供 <p>前年に引き続き在宅看護が注目されており、当委員会でも連携のあり方や方法について話し合われた。病院医療がますます高度化していく一方で、医療を継続しながら在宅で暮らすために必要な要件を整備していくことが早急に求められている状況がある。在院日数の短縮化を目指す病院としては、スムーズに在宅へ移行できることが看護師の命題であるが、方法が見出せ</p>	<p>ないままに退院を迎えてしまうことがある。何が問題なのか、どうしたら患者本位の退院指導になるのか。医療の継続を在宅で仕事する看護師に託してもいいのか悩んでいるのでは…。立場を変えれば、どのようにしたら、訪問看護を理解してもらえるのか、入院時と同じように必要とされる医療を継続し、安心して在宅で生活するためにどのような事が必要なのか、物品の調達は…等々。</p> <p>住み慣れた家で、死までの時間を家族と共に過ごしたいと願う思いに耳を傾けてみると、何が必要が分かってくる。まず、個々の看護師の声を聴くことからはじめ、問題を解明し、連携のための方法を考えていくことを目指し、アンケート作成から取り掛かった。半年をかけて作成し、3月下旬に専門家による集計が終わった。</p> <p>「訪問看護推進委員会」には間に合わなかったが次年度の会議において有効に活用し、会員にフィードバックできるよう取り組みたい。</p>	
准看護師委員会		委員長 則岡 はるみ
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 7回 ・審議事項及び活動内容 <ul style="list-style-type: none"> 准看護師としての資質向上と看護師養成所2年課程（通信制）の進学に向けての準備を目標に研修会を実施。 <p>開催日と研修内容</p> <p>第1回 平成18年5月13日（土） 保健医療福祉の動向と看護の役割について理解できる通信制2年課程入学への動機付け</p> <p>第2回 平成18年6月10日（土） 看護理論を踏まえ、看護過程について理解できる</p>	<p>第3回 平成18年7月15日（土）（午前） 通信制2年課程入学への準備ができる</p> <p>第4回 平成18年7月15日（土）（午後） 看護過程を理解し看護計画が立案できる</p> <p>第5回 平成18年9月9日（土） 通信制2年課程への入学の準備ができる</p> <p>第6回 平成18年10月7日（土） レポートの書き方が理解できる</p> <p>第7回 平成18年11月11日（土） 通信制2年課程への入学の準備ができる</p>	
看護研修センター将来構想検討委員会		委員長 湯上 ひとみ
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 4回 ・審議事項及び活動内容 <ul style="list-style-type: none"> 看護研修センターの建設について、駐車場が確保でき、また近い将来発生が予想されている東南海地震に対して比較的安全な場所を確保できるための新しい土地の購入について、場所の選定と資金調達の方法について検討を重ねた。 <p>その結果、場所は海南市北赤坂台で、資金繰りについては</p>	<p>会員1名1口1万円以上の出資で約1億円の土地購入費を確保することを決定した。</p> <p>また、看護研修センター建築については、総会において建物の具体的な案等詳細を提示し、新しい土地購入後早期に建築してもらいたいという結論を得た。</p>	
「まちの保健室」運営委員会		委員長 石橋 隆子
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 11回 まちの保健室開催 5回 ・審議事項及び活動内容 <ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き看護協会駐車場建物内を会場に、奇数月の第3土曜日に定例開催した。広報についてチラシ配布から地方紙の「ニュース和歌山」、「リビング」への無料掲載に変更することで関戸地域だけでなく遠方からのビジターが増えた。2回目以降の案内も封書から葉書へ変更した。内容は、諸計測の実施とメインテーマとして最近関心の高くなっている健康面の話題をタイムリーな内容（メタボリ 	<p>ックシンドロームや動脈硬化、骨粗鬆症）で、住民参加型講座で積極的な意見交換やヨガ体操などの運動も取り入れた。その結果リピーターも増え、好評を得た。参加者は約30名から60名余と増加している。</p> <p>今後の開催について、今年度同様、セカンドキャリア、ボランティアの方々の協力をお願いしたい。県看護協会としてさらに広く住民のライフサポーターとして、地域に密着した看護活動を展開していく必要がある。</p>	
セカンドキャリア事業運営委員会		委員長 西本 香代子
<ul style="list-style-type: none"> ・回数 4回 ・審議事項及び活動内容 <ul style="list-style-type: none"> 平成18年度のセカンドキャリア促進事業の活動計画及び実施について以下の審議、活動を行う。 <p>審議事項</p> <p>1回 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 会員の入会をどう進めていくか。 2) セカンドキャリア事業についてどうアピールするか。 3) 参加しやすいイベント、研修会について検討。 <p>2回 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研修及びイベントについて検討。 2) まちの保健室とセカンドキャリアとのタイアップした活動。 	<p>3) 看護協会教育・研修会の協力にあたっての課題を検討。</p> <p>3回 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) セカンドキャリア促進事業における研修、イベントの具体案決定。（日時、テーマ、プログラム、アンケートなど） 2) 当日の運営と反省会について。 <p>4回 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研修、イベント開催前の打ち合わせ。 2) 反省会及び今後の研修、行事について検討。 <p>活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研修「これからの年金生活」講師 第一生命保険会社 イベント「笑って、笑って健康づくり」講師 岩橋 由梨 2) まちの保健室の活動に協力参加 	

- ・回数 本会は平成19年度の日本看護学会「看護管理」の準備を行うことを目的に、6回の委員会を開催した。
- ・審議事項及び活動内容
 - 1.学会テーマは「看護、更なる挑戦ー育ちあう看護管理」とした。
 - 2.特別講演のテーマは「個の力をチーム力に」とし、学生個々の力を結集し甲子園常連校として春と夏の通算成績51勝をあげ、監督通算成績歴代2位、現役の監督としては第1位と、輝かしい実績を残している智辯学園和歌山高等学校野球部監督の高嶋仁氏に依頼した。
 - 3.教育講演のテーマは「新人看護師の育成ー卒後臨床研修体制づくり」とし、地域の中核病院として新人看護師の卒後臨床研修制度を取り入れている徳島赤十字病院看護部長の水口艶子氏とした。
 - 4.シンポジウムのテーマは看護職が経営に参加している病院が増加していることを鑑み「看護職の経営参画」とし、コーディネーター・助言者として松村啓史氏（テルモ株式会社取締役常務執行委員・経営企画室長）に依頼した。シンポジストとしては、青木菜穂子氏（トータルケアプロモーション代表）、大島敏子氏（神戸大学医学部附属病院看護部長・副院長）、菅原由美氏（有限会社ナースケア役員）、板倉徹氏（和歌山県立医科大学附属病院院長）に依頼することとした。
 - 5.抄録選考委員を23名決定した。
 - 6.その他
 - ・平成19年度日本看護学会開催県抄録担当者打ち合わせ会の報告として、抄録選考における倫理的配慮および選考のポイントを中心にいった。

地区支部報告

伊都地区支部 支部長 西山 登志子

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
総会・研修会	平成18年7月	会員	73名	1)平成18年度伊都地区支部総会 2)伊都地区支部研修会 テーマ「感染看護の実際」 講師：和歌山県立医科大学附属病院 感染管理認定看護師 出口安芸先生	病院感染の問題は、医療の質を保証する立場から現場スタッフが真剣に考えるべき重要な課題である。
看護週間・行事	平成18年5月7日	一般住民	157名	看護の日キャンペーン「1日まちの保健室」 健康相談（日常生活・食生活について等） 血圧・体脂肪・骨密度測定・記念グッズの配布	健康に対する関心の高さを窺えた。
老人看護月間行事	平成18年9月9日 九度山町ふるさとセンター	会員	28名	講演：「在宅老人の実際」 講師：前田医院 医院長 前田至規先生	プライマリケアにとって大切なことは、老人の日常生活の連続性をできる限り保持できるように、家人・介護・看護等チームワークよく協力体制で関わる事の大切さを学んだ。
県看護連盟紀北支部・ 県協会伊都地区支部 合同研修会	平成18年10月28日 九度山町ふるさとセンター	会員		講演：「看護の未来のために」 講師：前国立病院機構横浜医療センター看護部長 日本看護連盟常任幹事 阿津公子先生	
県看護連盟紀北支部・ 県協会伊都地区支部 合同研修会	平成19年1月9日 紀和病院	会員	76名	講演：「医療連携で安心治療～シームレスケアの促進～」 講師：前福岡県立大学看護学部教授 アンフィニ編集長 松原まなみ先生	シームレスケアの鍵は基礎となる看護にあり、専門性の向上のためにも「看護教育」の基盤固めが重要である。
平成18年度 看護研究発表会	平成19年3月3日 九度山町ふるさとセンター	会員	73名	研究発表5題 講評：和歌山県立医科大学保健看護学部 助教授 水主千鶴子先生	
施設会員代表者会	平成18年8月10日 橋本市民病院	施設会員代表者 役員	12名	1.平成18年度和歌山県看護協会事業について 2.平成18年度第2回法人会委員会の報告について 3.意見交換	協会事業運営が円滑に行える事を目的として開催する。
	平成19年3月19日 橋本市民病院	施設会員代表者 役員	13名	1.平成18年度和歌山県看護協会事業について 2.平成19年度和歌山県看護協会事業にむけて 3.意見交換	協会事業運営が円滑に行える事を目的として開催する。
支部役員会 (開催場所：橋本市民病院)	平成18年7月21日	役員	5名	①看護協会からの依頼事項 ②老人看護月間行事について ③その他	
	平成18年8月18日	役員	5名	①老人看護月間行事について	
	平成18年9月15日	役員	4名	①老人看護月間行事の振り返り ②平成19年1月9日合同研修会について	
	平成18年10月27日	役員	6名	①合同研修会について ②研究発表会について	
	平成18年12月8日	役員	5名	①支部長からの理事会報告 ②合同研修会の役員派遣について ③看護研究発表会について	
	平成19年1月19日	役員	6名	①合同研修会の振り返り ②看護研究発表会について	
	平成19年2月16日	役員	6名	①看護研究発表会 製本 ②看護週間行事について	
	平成19年3月16日	役員	5名	①看護研究発表会振り返り ②看護週間行事	

行事内容

那 賀 地 区 支 部 支部長 田 伏 富 紀

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室 支部役員会	平成18年5月13日 ミレニアシティ岩出	一般住民 協力員 地区支部役員	130名 24名	1) 体重測定・体脂肪測定・血圧測定・骨密度測定 2) 測定結果の説明と健康相談 3) 「1日まちの保健室」のアピール	住民の「健康や生活のしかた」への関心の高まりが窺えた。
支部役員会	平成18年6月6日 富田病院	地区支部役員	3名	平成18年度和歌山県看護協会那賀地区支部総会について	
会計監査	平成18年6月20日				
地区支部総会 地区支部研修会 支部役員会(新旧役員)	平成18年6月24日 岩出市総合福祉センター	地区支部会員 地区支部役員	302名 委任状(238名) 6名	1) 平成18年度地区支部総会 2) 地区支部研修会 テーマ「感染対策について」 講師：和歌山県立医科大学附属病院 感染管理認定看護師 出口芸先生	感染防止を実践するための、必要な今後の取り組みについて具体的に再考の機会であった。
支部役員会	平成18年7月5日 岩出保健所	地区支部役員	3名	老人看護月間行事について	
地区別施設会員 代表者会議	平成18年8月3日 岩出保健所	地区支部役員 施設会員代表者	16名	議題 1) 平成18年度事業の取り組み 2) 日本看護協会法人会報告 3) その他	
支部役員会	平成18年8月28日 岩出保健所	地区支部役員	3名	1) 看護協会への提案要望事項 2) 老人看護月間行事について	
支部役員会	平成18年9月22日 岩出保健所	地区支部役員	3名	1) 看護協会への提案要望事項 2) 老人看護月間行事について	
老人看護月間行事 地区支部研修会	平成18年10月14日 岩出市総合福祉センター	地区支部役員 非会員 介護員	84名	地区支部研修会 テーマ：「嚥下リハビリについて」 講師：那賀病院言語聴覚士 静 智弘先生	公立那賀病院言語聴覚士 静智弘氏を講師として迎え、「嚥下リハビリについて」の講演は好評であった。
県看護連盟紀北支部・ 県協会那賀地区支部 合同研修会	平成18年12月2日 桃山保健福祉センター	地区支部会員 連盟会員	54名	研修会 テーマ：「インフォームドコンセントと看護の役割」 講師：日本看護連盟監事 聖路加看護大学名誉教授 岩井郁子先生	診療記録の開示は目的にかなう公的な看護記録内容であることを認識できた。
支部役員会	平成19年3月8日 岩出保健所	地区支部役員	3名	1) 「1日まちの保健室」実施について 2) 平成19年度和歌山県看護協会地区支部総会について	
地区別施設会員 代表者会議	平成19年3月30日 岩出保健所	地区支部役員 施設会員代表者	15名	1) 平成18年度和歌山県看護協会事業経過報告 2) 平成19年度和歌山県看護協会事業における 3) 意見交換	

行事内容

和 歌 山 地 区 支 部 支部長 前 田 や よ い

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
地区支部役員会	平成18年4月20日 和歌浦中央病院	役員	6名	通常総会、研修会、1日まちの保健室について検討	
1日まちの保健室	平成18年5月13日 県立図書館イベントホール	一般市民 助産師職能 役員・協力員	120名 6名 10名	血圧測定・骨密度測定・体脂肪・血管年齢測定	年齢層の幅広い方の参加があった。
地区支部役員会	平成18年5月30日 和歌浦中央病院	役員	6名	通常総会・研修会について 新役員への引継ぎ	
地区支部役員会	平成18年6月22日 和歌浦中央病院	役員	6名	通常総会の準備・議長団との打ち合わせ 研修会の準備	
通常総会 第1回研修会	平成18年6月24日 農協会館5階大ホール	会員 新旧役員 協力員	246名 7名 8名	通常総会 研修会：「看護職員のための音楽療法」 講師：高本恭子先生	高本先生の講演は感銘を受け、良かったとの意見を多数いただいた。
地区支部役員会	平成18年7月26日 和歌浦中央病院	役員	6名	通常総会の反省・老人看護月間について 看護協会への要望・ナース章のとりまとめ	
第1回 施設会員代表者会議	平成18年8月8日 和歌浦中央病院	施設会員代表者 役員	32名 5名	平成18年度事業の取り組みについて 平成18年度第2回法人会報告について	課題の確認。
地区支部役員会	平成18年8月23日 和歌浦中央病院	役員	6名	老人看護月間の打ち合わせ準備 第2回研修会について	
地区支部役員会	平成18年9月9日 和歌浦中央病院	役員	6名	老人看護月間の準備・反省会 第2回研修会について	
老人看護月間	平成18年9月9日 県立図書館イベントホール	一般市民 役員 協力員	106名 7名 4名	血圧測定・骨密度測定・体脂肪測定 身身体重測定・血管年齢測定など	天候もよくスムーズに進んだ。
地区支部役員会	平成18年9月27日 和歌浦中央病院	役員	6名	第2回研修会について 要望事項・提案事項について検討	
地区支部役員会	平成18年10月25日 和歌浦中央病院	役員	6名	第2回研修会の確認 次年度研修会・次年度役員について	
第2回研修会	平成18年11月4日 ブラザホープ4階ホール	会員 役員	126名 5名	研修会：「認知症の患者を通じて教えられたこと」 講師：安川 修先生	前向きな意見を多数いただいた。

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
地区支部役員会	平成18年11月22日 和歌浦中央病院	役員	6名	第2回研修会の反省・次回研修会について 通常総会について	地区支部事業計画に沿って円滑に事業を進められるよう協議検討した。
地区支部役員会	平成18年12月21日 和歌浦中央病院	役員	8名	通常総会について・監事への報告 来年度の計画について	
地区支部役員会	平成19年1月21日 和歌浦中央病院	役員	6名	平成20年度代議員の推薦・看護協会長表彰について 研修会検討・役員の役割・規程の見直しについて	
地区支部役員会	平成19年2月28日 和歌浦中央病院	役員	6名	通常総会・研修会について・代議員の選出 協会長表彰の取りまとめ・平成18年度事業まとめ	
地区支部役員会	平成19年3月28日 和歌浦中央病院	役員	8名	看護フォーラムについて 通常総会・研修会について	
第2回 施設会員代表者会議	平成19年3月30日 和歌浦中央病院	施設会員代表者 役員	30名 5名	平成18年度看護協会事業の経過報告について 平成19年度看護協会事業に向けて	

行事内容

海南・海草地区支部 支部長 沖田 さち子

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
支部役員会	平成18年4月18日 海南市民病院	役員	9名	・看護週間行事・地区支部研修会及び総会の開催について ・看護協会長表彰の推薦について	
1日まちの保健室	平成18年5月14日 わんぱく公園風の子館	一般 役員他	169名 17名	・健康相談(子育て、生活習慣病) ・骨密度、血圧、体脂肪測定 ・乳ガン模型を使って触診体験	子供連れの若いご夫婦が多く盛況で、持参した各種パンフレットや看護の日のグッズは大人気でした。
支部役員会	平成18年6月20日 海南市民病院	役員	10名	・1日まちの保健室実施後の反省 ・総会の運営について ・研修会の開催について ・老人看護週間行事について	
研修会 総会	平成18年7月1日 海南市保健福祉センター	会員	119名	講演「紀州の秘湯めぐり」 講師 海南市民病院 副院長 佐々木政一先生 平成17年度事業報告及び決算報告 平成18年度事業計画案・予算案	佐々木先生は外科医ですが、温泉好きが高じて温泉博士でいらっしゃいます。90分の講演で温泉天国和歌山の秘湯めぐりを楽しく体験させていただきました。
第1回 海南・海草地区 施設会員代表者会議	平成18年8月9日 海南市民病院	施設会員代表者 役員	11名	・平成18年度和歌山県看護協会事業について ・法人会員会報告	
支部役員会	平成18年9月26日 海南市民病院	役員	9名	・理事会報告 ・老人看護週間行事と海南市、紀美野町健康まつり参加の企画と運営について ・総会、研修会の反省	
健康まつり	平成18年10月15日 海南市保健福祉センター 平成18年11月19日 紀美野町文化センター	一般 役員 一般 役員	138名 8名 267名 11名	脳の老化度チェック ・豆つかみ ・ストループテスト ・目かくし足踏み運動	健康まつりの「豆つかみ」は「看護協会」というように、この行事は地域にしっかり根ざしてきています。大人も子供も楽しんでいただけでした。
支部役員会	平成18年11月21日 海南市民病院	役員	8名	・理事会報告 ・健康まつりの反省 ・第1回研修会の運営について	
第2回研修会	平成18年12月2日 海南市保健福祉センター	会員	110名	講演「認知症を通じて教えられたこと」 講師 安川診療所 所長 安川 修先生	地域医療に深く関わっておられるご自身の体験から、医者と患者ではなく人間対人間の医療について、お得意の歌とギターを交え、涙と笑いの講演を頂きました。
支部役員会	平成19年2月20日 海南市民病院	役員	9名	・第1回研修会の反省 ・第2回研修会について ・看護週間行事について	
第2回海南・海草地区 施設会員代表者会議	平成19年3月20日	施設会員代表者 役員	14名	・平成18年度和歌山県看護協会事業報告 ・平成19年度和歌山県看護協会事業について	

行事内容

有田地区支部 支部長 野村 眞佐子

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成18年5月13日 オークワ有田川町店	役員 住民	13名 203名	・健康相談・体脂肪検査 ・血圧測定・介護相談 ・妊婦体験 ・赤ちゃん抱っこコーナー ・記念グッズ配布	あいにく雨が降っていたが、203名の方が、血圧測定・体脂肪測定などに参加して頂いた。助産師の参加もあり、妊婦体験なども好評だった。
平成18年度 支部総会	平成18年6月17日 県立こころの医療センター	会員	85名	1.平成17年度事業報告・決算報告 2.平成18年度事業計画案・予算案	地区支部の1年間の活動を報告するとともに、新年度の事業計画について説明した。アンケートにより、会員の要望等を把握できた。
第1回 支部研修会	平成18年6月17日 県立こころの医療センター	会員	85名	災害看護 日本赤十字社和歌山医療センター 看護副部長 高岸 壽美先生	参加者からのアンケートでは、「身近な話で良かった。」「実際の現場の話聞くことができ、勉強になった。機会があればまた参加したい。」など好評だった。

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
第1回 施設会員代表者会議	平成18年8月8日 済生会有田病院	施設会員代表者	7名	1.平成18年度和歌山県看護協会事業について 2.看護協会法人会委員会の報告 3.意見交換	日本看護協会の事業計画や看護を取り巻く動きなどが理解できた。 地区支部の実態を県協会に直接伝える機会として有意義である。
支部役員会	平成18年8月8日 済生会有田病院	役員	8名	1.第1回の研修会の反省 2.老人看護月間行事について 3.支部研修会について	
老人看護月間行事	平成18年11月3日 広川町	役員 住民	16名 305名	かな拾い・血圧測定・体脂肪測定・保健相談	予定を上回る参加者で嬉しい悲鳴だった。 住民より来年もして欲しいと希望があった。
支部役員会	平成18年12月15日 済生会有田病院	役員	10名	1.看護連盟合同研修会 2.第2回地区支部研修会 3.老人看護月間行事の反省会 4.その他	
看護連盟・看護協会 合同研修会	平成19年1月8日 湯浅保健所	会員	57名	「患者視点の医療－患者ケアと患者満足度－」 松原まなみ先生	看護の現場からの内容で、熱心に講師の話に聞き入り、 看護職として何をすべきなのか、深く考えさせられた。
第2回 支部研修会	平成19年2月10日 県立こころの医療センター	会員	106名	看護研究発表会 演題16題	パワーポイントの不備などもあったが、初めての 試みとしては、参加者も多く、「是非今後も続け て欲しい。」と多くの参加者からの意見があった。
第2回 施設会員代表者会議	平成19年3月20日 済生会有田病院	施設会員代表者	7名	1.平成19年度活動方針 2.支部からの要望等 3.その他	
支部役員会	平成19年3月20日 済生会有田病院	役員	4名	1.1日まちの保健室について 2.看護研究発表会の振り返り 3.平成19年度総会について 4.平成19年度支部体制について 5.平成19年度事業計画 6.その他	

行事内容

日高地区支部 支部長 田口 佳美

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
総会	平成18年7月15日 北出病院 アクオ	会員	87名	総会	
研修会 (第1回)	平成18年7月15日 北出病院 アクオ	会員	87名	演題「医療安全活動において看護職が果たすべき責任」 講師 独立行政法人 国立病院機構 南和歌山医療センター 看護師長 木村 康子先生	会員からの希望が多くあった。医療事故に 関する研修テーマで関心が高く熱心に 受講された。
研修会 (連盟と合同)	平成19年1月8日 北出病院 アクオ	会員		演題「意思決定を支える～看護とインフォームドコンセント～」 講師 前 福岡県立大学看護学部教授 アンフィニ編集長 松原まなみ先生	
研修会 (第2回)	平成19年3月17日 独立行政法人 国立病院機構 和歌山病院 研修棟	会員		演題「幸せの条件～より良く生きるために」 講師 法相宗 大本山 薬師寺 執事 大谷 徹英先生	
看護の日 1日まちの保健室	平成18年5月13日 陽だまりサロン シャペローゼ	一般住民 役員	31名	健康チェック：身長・体重・体脂肪・血圧測定 健康相談 白衣体験	雨天のため参加者が少なかった。
看護月間行事	平成18年11月18日 美浜町体育センター	一般住民 会員・役員	137名	美浜町文化展に参加 健康チェック：身長・体重・体脂肪・血圧測定 健康・栄養相談	地域住民の多くの方に参加していただいた。
施設会員代表者会議 (第1回)	平成18年8月11日 北出病院 アクオ	役員 施設会員代表者	11名	和歌山県看護協会長を迎え、国、県、協会の 動向や意見交換を行った	
施設会員代表者会議 (第2回)	平成19年3月20日 北出病院 アクオ	施設会員代表者 役員	9名	平成18年度和歌山県看護協会事業経過報告 平成19年度和歌山県看護協会事業において 意見交換	
役員会 (第1回)	平成18年5月13日 陽だまりサロン シャペローゼ	役員	9名	看護の日「1日まちの保健室」の反省	
役員会 (第2回)	平成18年7月4日 北出病院 アクオ	役員	9名	総会開催に関する協議	
役員会 (第3回)	平成18年7月15日 北出病院 アクオ	役員	9名	総会および研修会の反省	
役員会 (第4回)	平成18年10月4日 北出病院 アクオ	役員	9名	看護月間行事について協議	
役員会 (第5回)	平成18年11月18日 北出病院 アクオ	役員	7名	看護月間行事の反省 第2回会員研修に関する協議	
役員会 (第6回)	平成19年3月17日 和歌山病院 研修棟	役員		研修会の反省 平成19年度 看護の日「1日まちの保健室」に関する協議	

行事内容

田 辺 地 区 支 部

支部長 河 野 佐 和 子

行 事 名	開催日・場所	対象者	参加者数	行 事 内 容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看 護 の 日 1日まちの保健室	平成18年5月13日 オーシティー田辺店	地域住民 役 員	120名 11名	①血圧測定 ②体脂肪測定 ③健康相談 ④看護の日PRグッズの配布	・毎年同じ場所を借りて行うため楽しみにしている。 ・気軽に健康相談ができ、指導も行って くれるので嬉しいと好評。
地 区 支 部 総 会	平成18年6月24日 南和歌山医療センター	会 員 非 会 員	54名	平成18年度田辺地区支部総会	・議事はすべて承認された。
第 1 回 学 習 会	平成18年6月24日 南和歌山医療センター			「栄養療法実践のための症例検討」(主観的包括的評価) 講師：国保すさみ病院 高垣 有作先生	
第 1 回 施設会員代表者会議	平成18年8月1日 田辺市民総合センター 4階会議室	施設会員代表者 役 員	10名	①平成18年度和歌山県看護協会事業について ②平成18年度第2回法人会報告について ③意見交換	・厚労省、県の動向が明確に把握できた。
地 区 支 部 役 員 会	平成18年8月1日 田辺市民総合センター 4階会議室	役 員	10名	①理事会報告 ②平成19年度看護協会運営並びに事業に対す る提案・要望事項について ③連盟・協会の合同研修会について ④第1回学習会の反省 ⑤第2回学習会について	
第 2 回 学 習 会	平成18年10月7日 紀南病院3階講堂	会 員 非 会 員	58名	「栄養療法実践のための症例検討」(客観的包括的評価) 講師：国保すさみ病院 高垣 有作先生	
看 護 月 間 行 事	平成18年11月26日 田辺市民総合センター	地域住民 役 員	124名 11名	・健康チェック 血圧測定 体脂肪測定 ・健康相談	・田辺市生涯学習フェスティバルに参加させて頂く。 ・自分の健康状態に努め、疾病予防している人が多い。
看 護 連 盟 ・ 協 会 合 同 研 修 会 (田辺・新宮・串本地区)	平成18年12月20日 南和歌山医療センター	役 員 会 員 非 会 員	48名	「診療報酬改定をふまえて これからの看護」 日本看護連盟 幹事長 石田 昌宏先生	
地 区 支 部 役 員 会	平成19年1月10日 南和歌山医療センター	役 員	10名	①理事会報告 ②看護研究発表会について	
看 護 研 究 発 表 会	平成19年3月3日 南和歌山医療センター	役 員 会 員	11名 85名	講 評：南紀高等学校 教諭 日下早苗先生 ①胃瘻造設術後の看護を実践して ～チェック表を用いた術後の観察と異常の早期発見～ 田辺中央病院 柘植節代 ②在宅呼吸器疾患患者へのチームアプローチ 訪問看護ステーション エンゼル 高垣清一 ③病的多飲水患者へ関わり 紀南こころの医療センター 松下昌平 ④経皮経肝胆道ドレーナージカテーテル固定方法の検討 紀南病院 清水李紗 ⑤輸液ポンプのインシデント調査 南和歌山医療センター 前山収作 ⑥口腔ケアマニュアルを用いた援助を実施したこと で得られた看護師の意識と行動の変化について 南和歌山医療センター 山口恵美子 ⑦療養病棟における尿漏れ減少に向けたオムツの見直し 白浜まきゆう病院 野田 愛	
第 2 回 施設会員代表者会議	平成19年3月28日 田辺市民総合センター	施設会員代表者 役 員	15名	①平成18年度和歌山県看護協会事業経過報告 ②平成19年度和歌山県看護協会事業に向けて	
地 区 支 部 役 員 会	平成19年3月28日 田辺市民総合センター 4階会議室	役 員	11名	①理事会報告 ②看護研究発表会反省会・意見交換 ③平成19年度「1日まちの保健室」 ④平成19年度田辺地区支部総会・学習会について	

行事内容

新 宮 ・ 串 本 地 区 支 部

支部長 有 竹 由 紀 子

行 事 名	開催日・場所	対象者	参加者数	行 事 内 容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成18年5月13日 ペアシティ オークワ新宮店	会 員 一般住民	10名 265名	1.血圧測定 2.体脂肪測定 3.呼吸一酸化炭素濃度測定 4.看護協会パンフレット・グッズ配布	この行事は毎年恒例で、開催場所も一定のところをお願いして いるため、「去年も利用した」と言っていた方が多くなり ました。今後も地域の中で看護職をアピールする機会としてい きたいと考えています。
施設会員代表者会議	平成18年6月6日 新宮市立医療センター	地区支部 施設会員代表者 役 員	10名	1.理事会報告 2.平成17年度支部事業報告 平成18年度支部年間計画について 3.新宮・串本地区支部規約について 4.その他	
新宮・串本地区支部総会	平成18年6月17日 新宮市立医療センター	会 員	96名 (委任状提出 177名)	1.平成17年度事業報告・決算報告 2.平成18年度事業計画(案)並びに予算(案)について 3.支部運営について	議事承認
第 1 回 研 修 会	平成18年6月17日 新宮市立医療センター	会 員	96名	「私の体験したディズニーマジック」 講師：香取感動マネジメント 香取 貴信氏	講師がディズニーランドの従業員として体験されたお 客様へのサービスについての講演で会場は笑いに包ま れました。本当に大切なサービスの基本を教わり、看 護サービスの基本を改めて認識しました。 ディズニーのサービス 「生きて帰ること」(安全性) 「すべてはお客様のために」 (お客様と接していない時の行動も)

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
第2回研修会	平成18年10月28日 新宮市立医療センター	会員	63名	「輸液管理に関する安全性について」 講師：テルモ株式会社 芹生 珠紀氏 「臨床工学技師の業務と今後の展望」 講師：新宮市立医療センター 臨床工学部 坂本 亮輔氏	看護業務の中で誰もが日常的に行っている業務のひとつである輸液についてとりあげました。 チーム医療の中で臨床工学技師の役割は年々増加しつつあります。実際にどのような業務を行っているかを紹介していただき、今後、より良く協働していく環境を醸成したいと考え企画しました。会員には概ね好評で、共に働くチームメイトとして、臨床工学技師への理解が深まりました。
老人看護月間行事	平成18年11月5日 太地町(くじら祭会場)	会員 一般住民	10名 422名	1.血圧測定(210人) 2.体脂肪測定(190人) 3.呼吸一酸化炭素濃度測定(22人)	看護協会用テントの準備など主催者側の全面的な協力をいただきました。 漁港内広場で開催され人出も多く、多くの方に看護協会のアピールができました。
支部役員会	平成18年11月6日 新宮市立医療センター	支部役員	6名	1.地区支部備品購入について(血圧計5台)	議事承認
第3回研修会	平成19年2月3日 新宮市立医療センター	会員	74名	第3回研修会 「リスクマネジメントの関連法規」 講師：水島 幸子氏	医療過誤(事故含)が大きく報じられる中で、それらのどの事例も他人事としては見過ごせません。日々の、看護業務を誠実に的確に行うべく誰もが努めているところではありますが、さまざまな危険と隣り合わせというもまた事実です。 今回、医療事故を法的な側面から捉えた講演をしていただき、大変わかりやすく好評でした。
施設代表者会議	平成19年3月27日 新宮市立医療センター	施設会員代表者 支部役員	7名 1名	地区支部役員担当施設について	現在6施設で担当しているが串本、古座川が近い将来統合されるため、両施設を1施設とし、5施設で担当とする。役員担当システムについては今後の課題とする。

保健師のコーナー

保健師職能委員 山本昌代

今年の1.17で阪神・淡路大震災から12年が経ちました。

和歌山市内の自宅で早朝大きな揺れにあい、「いつまで続くのか」と不安だった記憶が今でも蘇ってきます。神戸では1つの小学校を拠点として保健活動を行い、まだまだガスの臭いがする道を歩きながら家庭訪問した記憶も鮮明に残っています。新潟県中越地震では避難所内での健康管理でしたが、ずいぶんと阪神・淡路の活動がいかされていきました。

では、和歌山に災害がおきた時には、どう対応できるでしょうか。今年の保健師職能委員会での、一番の検討議題です。各自

治体の計画は、県内で統一されていないようです。そのため特に初動活動で、混乱せず動けるチャートを作成中です。今年度委員会で、災害看護について勉強してきました。その中で考えさせられたことがあります。緊急時、治療を途切れさせてはいけないうちや状況把握しなければいけない方たちの、安否確認等がどれだけのできるのか。考えた時、改めて日々の保健活動の積み重ねが大事になってくると思いました。初期を乗り切れば、全国の看護職が応援に来てくれます。それまでの初動活動について、冷静に動けるよう考えていきたいと思います。

助産師のコーナー

助産師職能委員 出崎陽子



こんにちは。助産師の出崎陽子です。助産師職能委員の活動は昨年に続き今年度も思春期指導の実際でした。指導させていただいた学校ではお蔭様で好評を得ました。

世の中は、なかなか穏やかに動いてくれない様で、昨年7月中旬突然、南和歌山医療センター産婦人科縮小の発表がありました。9月より助産師外来を開設し、産後の母児への支援、ベビーマッサージ、更年期相談等行っています。

助産師外来に携わって女性のライフサイクルをみると“自分の

きた道、行く道”でありすべてが助産師活動の場面であることが見えてきました。誕生から乳幼児期…更年期、老年期の各期に様々な保健指導課題があり、サービスが求められていると実感しています。

少子化が進む中、身近で安全にお産できる施設の減少、産科医の減少、90年産まれ女性-1/4は生涯未婚との推測(毎日新聞)等など出生率の低下に歯止めがかかりそうにありません。

かたや高齢化の進む中、更年期以降の女性に残された人生は30年余り、その後半の人生に目をむけ老化長寿にならぬよう、ピンピン元気に夢を持って日々を過ごしたいと思います。

そんな人生の相談相手になれたら助産師冥利に尽きるかなっ、と思っている次第です。

看護師のコーナー

看護師職能委員 水田真由美



早いものでもうすぐ看護師職能委員長としての任期を終えようとしています。2年間はアツと言う間に過ぎたように思います。

日本看護協会は今、看護教育制度の改革や看護職の定着確保に向けて活動しています。もちろんこれだけではなく、多くの課題に取り組んでいます。和歌山県看護協会も我々看護師職能の課題を見つめ、昨年、離職防止に向けてのシンポジウムを企画しました。しかし、今後より一層、看護職の定着に向

けて取り組んで行かなければなりません。定着のためには、より良い職場を作っていくことが大切です。看護職の労働安全衛生を改善していけるように、社会経済福祉委員会と協働での調査や三職能合同でのストレスマネジメントの研修を開催するなど、連携を大切にしながら活動してきました。また、看護師職能委員長として、都道府県職能委員長会へ出席するなど、中央の動きや各県の活動を知ることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。さらに、多くの現場の声を聞くことができ、私自身大変有意義な2年間であったと思います。今後は看護協会の活動に、微力ではありますが、自分のできる貢献を考え、活動していきたいと思っています。ありがとうございました。

リレーエッセイ 友達の輪 NO.20

「ヨガ」

新宮市医療センター

濱口加絵



休憩室で同僚のスタッフが「私体が硬いの」と前屈になっている。でもその姿は前屈にはほど遠い。笑って見ていたのだが、その夜、我が姿にもビックリ。20数年前にはほたいが足に触れるかどうかだったのが、今は手がつま先に届くかどうか。3年前からスキューバダイビングもやめてしまい運動不足の日々。さっそくヨガ入門のDVDを買い、1日1回の目標でヨガをはじめた。DVDの中のインストラクターとはほど遠いポーズ。やらない日もあるけれどなんとか1ヶ月たちました。

(次回は、須佐病院 森本小由里さんです)

私の○○○

私のストレス解消法

岩根直美

皆さん、新年度に向けて忙しい日々が続きますね。忙しい時こそ心身の健康が一番。そこで、私のストレス解消法を紹介します。



私は、家の軒先に野菜を植えることができる場所を設けています。忙しい時は外に出る気分にもなれず、家で悪戦苦闘していますので、家庭菜園を行います。春先に苗や種を植え、初夏から収穫できるものを選んで行います。去年はキュウリやスイカを育て、夏中楽しみました。

家庭菜園の良さは、土に触れて自然に親しむことができ、農作業によって無心になれることです。この「無心」こそが、ストレス解消に有効かと。一度、お試しを！

〜〜 東洋羽毛のサービス 〜

リフォーム	古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。
補修・お直し	穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
クリーニング	大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
特別注文	製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます



※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

社団法人 和歌山県看護協会 推薦

東洋羽毛工業(株)大阪営業所

和歌山店 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
フリーダイヤル 0120-32-7766

※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました

大阪店 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13
フリーダイヤル 0120-88-2104



ホームページアドレス
<http://www.toyoumo.co.jp>

My Hospital

医療法人 宮本会 紀の川病院



当院は、昭和45年7月に創設以来、質の高い医療の提供を心掛け、患者様の社会復帰に尽力するとともに、地域社会への貢献に努めてまいりました。グループホームの開設、精神科デイケア施設の新設また訪問看護などの実施により在宅支援、社会生活の指導などにも順次取り組んできましたが、新たな時代の精神科医療に対応するために、平成18年4月に病院全体を新築しました。

現在、精神療養病棟と精神一般病棟の2種4病棟体制（病床数は221床うち個室12室）で運営されています。

『患者様一人ひとりに対して、より質の高い医療・福祉サービスを提供する』ことを病院の理念に掲げ、人間味あふれる治療環境を背景に、「機能文化」と「チーム医療」の確立によって、患者様の社会復帰促進に積極的に取り組んでいます。患者様の入院時から退院後の地域での生活支援を考える地域生活支援部も設置し、看護師や精神保健福祉士が訪問看護指導を通じて、その実現に寄与しています。

長期入院の患者様が多い療養型病棟においては、思いやりといたわりの気持ち大切に、ほのぼのとした治療環境を提供し、言葉にできない「心の声」に応え、患者様が本来持つておられる能力をよみがえらせていきたいと願っています。

今後も患者様と地域の方々に選ばれる、社会に大きく貢献する開かれた病院をめざしたいと考えています。

（記：看護部 樺山 勝）



災害看護

～災害についての取り組みや活動について～

橋本市民病院 看護部 西山登志子

近年わが国の最も大きな自然災害の一つは、1995年1月17日の阪神・淡路大震災でした。あれから12年が経過し、この時の教訓を糧にし「災害医療のあり方」が検討されるようになってきました。

看護職においても、1998年12月災害看護への認識をより一層高めていくことを目的として日本災害看護学会が発足しました。

災害には、◎自然災害◎人為的災害◎作為的災害があります。

この学会は災害発生時に、災害によって生じる健康問題の予防と素早い救護・復興を目的として、救急外科・感染症学・公衆衛生・地域保健などの様々な分野や、総合的な災害管理に協同するためのものです。

災害・救急医療における行政対応として消防本部と県指定の災害拠点病院である橋本市民病院はその重責を担っています。

そこで、橋本市民病院としての取り組みとしまして、災害医療での地域連携の机上訓練や個人の要救護者に対する救命処置のスキルアップに取り組みました。

まず、平成18年10月7日にエマルゴ・トレーニングでの第一人者である中田康城先生を招いて、多数傷病者救護机上演習を行いました。このときは、大規模災害（人為的災害）に対して他施設（消防・警察・自衛隊・行政・近隣病院等の関係機関）との連携を目的とした模擬訓練でした。

さらに、災害医療体制の標準化として災害医療派遣チーム（DMAT）養成研修を今年1月23日から25日の3日間医師を含む他の職種の人たちと共に看護部も兵庫県災害医療センターへ参加してきました。

災害時の医療活動についての基本的な知識取得のための講義、災害医療活動の机上演習、トリアージ、応急処置や通信の実技、SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）の運営実習でした。

それと併行して、院内では独自に一次救命処置の対処法としての講習会「院内BLS講習会」を事務職・コメディカル・役所や他施設（老健など）へも働きかけ、定期的（第2・4金曜日）開催を行っています。

また、JPTEC・AHA-BLS／ACLSを取り入れて災害時の救急看護の対応の一環として研修しています。プロバイダー取得者は、看護職の約30%取得までになりました。

「災害は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」というように、これからも院外・内での訓練や研修会を継続しマニュアル周知やシミュレーション訓練・学習等を行い災害拠点病院としての機能充実に努めていかなければならないと考えています。



和歌山県看護協会の動き

運営に関する会議

平成18年度 第6回 常務理事会・理事会

開催日時 平成19年3月23日(金) 10:00~17:00

常務理事会 10:00~12:00

1. 協議事項

- 1) 平成19年度事業計画(案)・スローガン(案)・重点事業(案)について
 - 2) 研修センターについて
 - 3) 看護フォーラムについて 協力員について各支部理事に分担を決め依頼
 - 4) 和歌山県看護協会会長表彰について
10名選出
- 以上承認

理事会 13:30~17:00

1. 協議事項

- 1) 平成19年度スローガン(案)・重点事業(案)・事業計画(案)について
 - 2) 看護研修センターについて
 - 3) 和歌山県看護協会定款改正について
 - 4) 2007年「看護の日・看護週間」中央行事「看護フォーラム」について
当日の進行・プログラムの説明
 - 5) 事務長就任について
 - 6) 平成19年度和歌山県看護協会会長表彰について
10名選出
- 以上承認

平成19年度 第1回 常務理事会・理事会、合同運営会議

開催日時 平成19年4月25日(水) 10:00~17:00

常務理事会 10:00~12:30

1. 報告事項

- 1) 看護フォーラムの進捗状況について
- 2) 平成19年度第1回法人会報告は理事会であることを承認

2. 協議事項

- 1) 平成18年度事業実施について
 - 2) 平成18年度会計決算と会計監査報告
 - 3) 平成19年度予算(案)
- 上記の件について内容等を理事会に提案することを承認
- 4) 看護研修センターの土地取得と建設について通常総会へ上程する内容と資料について検討。理事会に諮ることを承認

合同運営会議 13:30~15:00

平成18年度事業実施報告

- 1) 各職能活動報告
 - 2) 常任委員会活動報告
 - 3) 特別委員会活動報告
 - 4) 各地区支部活動報告
- 以上の報告に対して意見交換をする。

理事会 15:00~17:00

1. 報告事項

- 1) 平成19年度第1回法人会報告
- 2) 看護フォーラムの進捗状況
- 3) 事務長就任

2. 協議事項

- 1) 平成18年度事業実施報告について承認
- 2) 平成18年度会計決算・監査報告について承認
- 3) 平成19年度予算を決算から修正し承認
- 4) 新看護研修センターに関する総会への提案内容について土地取得と建設に関する事項と資金計画について資料を提示し説明する。
事前に各会員へ提案内容を具体的にし、資料をつけて通知する。
会員の疑問に対して各地区で理事が説明する。
協議の結果承認

会員の皆さまへのお知らせ

● ICN・CNR 学術集会のグッズに対するお礼

ICN・CNR 学術集会に参加される外国の看護職の皆さまにお土産として配布するグッズのお願いしましたところ、皆さまから沢山のご協力をいただき、ありがとうございました。外国の皆さまに持って帰って頂きやすいようにラッピングし浴衣と共に4月12日に日本看護協会へ送りました。

5月28日から会場で配布される予定です。

● 看護の日・看護週間中央行事「看護フォーラム」が開催されました

5月12日(土)に県民文化会館において、「看護の心をみんなの心に」をメインテーマとして、看護の日・看護週間行事「全国看護フォーラム」を次の内容で開催しました。

オープニング 和歌山警察音楽隊のドリル演奏
「看護のある風景」写真コンクール表彰式
講演「いのち輝くとき」飛驒千光寺住職 大下大圓 先生

「命の輝き、あしたにつなぐ」大森豊緑和歌山県福祉保健部健康局長をコーディネーターとして弓庭喜美子保健師・向井君子助産師・高野裕子看護師をシンポジストにシンポジウムを実施和歌山市民オペラ協会会員によるコンサート「愛を歌う！一夜鳴き鶯(ナイチンゲール)他」など多彩な催しをしました。

同時に「まちの保健室」、「看護学校紹介・看護職への進路指導」、「専門看護師・専門看護師認定看護師の紹介と相談」、「看護職の就職相談」を開催しました。

ご多忙の中、各地区からのご協力とフォーラムへのご参加ありがとうございました。

● 平成19年度通常総会を6月9日(土) 県民文化会館小ホールで開催

すでにご案内しておりますが、重要な議案を上程しております。

ご参加下さいますようお願いいたします。